

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名：第3次産業活動指数(12月)

発表日：2月23日(水)

～ 10 - 12月期の日本経済停滞を再確認 ～

(No.J-123)

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 副主任エコノミスト 新家 義貴

(単位:%)

		第3次産業活動指数		電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療、福祉	サービス業
		前期比	前年比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比
03	1-3月	0.7	0.6	0.4	▲ 0.5	▲ 0.1	0.8	▲ 0.4	0.4	▲ 0.3	1.7	1.2
	4-6月	0.1	0.8	▲ 1.1	2.3	▲ 1.3	0.0	1.3	1.2	▲ 1.7	0.5	0.2
	7-9月	0.1	0.1	▲ 3.2	▲ 1.7	0.9	▲ 0.9	2.4	0.1	▲ 0.0	1.0	0.5
	10-12月	1.0	1.8	1.9	3.6	0.3	1.1	0.8	▲ 0.2	1.9	0.6	0.5
04	1-3月	▲ 0.1	2.3	1.7	▲ 3.8	▲ 0.5	0.1	0.7	▲ 0.4	▲ 0.5	1.2	▲ 0.5
	4-6月	1.6	2.3	2.0	2.7	0.3	0.1	3.2	1.7	0.9	0.7	2.9
	7-9月	▲ 0.3	2.2	0.1	▲ 4.1	0.6	0.2	▲ 2.4	0.1	▲ 1.5	0.6	1.3
	10-12月	0.6	1.7	▲ 3.0	6.2	0.6	▲ 0.1	0.4	0.3	▲ 0.8	▲ 0.0	0.9
03	1月	1.4	0.7	0.7	▲ 0.6	0.3	2.5	0.0	1.2	0.1	1.3	1.0
	2月	▲ 0.1	0.9	▲ 1.1	1.5	▲ 0.1	▲ 0.3	0.8	▲ 0.6	▲ 0.5	0.4	0.4
	3月	▲ 0.2	0.2	2.1	▲ 2.5	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 1.2	0.4	1.0	▲ 0.1	0.7
	4月	0.0	0.3	▲ 1.1	2.4	▲ 1.5	0.1	0.5	0.8	▲ 3.1	▲ 0.3	▲ 0.5
	5月	0.4	0.6	▲ 1.5	▲ 1.0	0.5	1.0	0.9	1.1	1.5	1.5	0.3
	6月	0.1	1.6	▲ 0.2	5.3	0.0	▲ 0.6	2.2	▲ 1.1	0.2	▲ 0.9	▲ 0.4
	7月	▲ 1.4	▲ 1.3	▲ 9.1	▲ 7.3	0.6	▲ 1.6	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.0	1.2	0.0
	8月	1.5	▲ 0.1	7.8	3.5	0.1	1.2	0.4	1.6	▲ 0.8	▲ 0.7	0.8
	9月	0.8	1.7	5.5	1.7	0.1	0.0	1.5	▲ 0.6	2.6	0.9	0.3
	10月	0.8	2.5	▲ 3.8	0.4	1.3	3.0	0.6	▲ 1.1	▲ 0.1	0.6	0.0
	11月	▲ 1.2	0.5	▲ 0.6	0.3	▲ 2.0	▲ 3.6	▲ 0.7	▲ 1.0	▲ 0.4	▲ 0.5	0.2
	12月	0.0	2.4	0.4	2.1	0.7	0.6	▲ 1.5	0.3	2.5	0.1	▲ 0.4
04	1月	2.1	2.6	2.9	▲ 3.7	0.6	3.6	2.5	0.1	▲ 2.2	2.4	2.3
	2月	▲ 3.5	2.6	▲ 2.8	▲ 2.2	▲ 2.7	▲ 4.1	▲ 3.1	▲ 3.3	▲ 0.2	▲ 3.8	▲ 3.9
	3月	1.6	1.9	1.8	▲ 0.4	2.7	0.4	4.8	3.8	1.0	4.6	0.1
	4月	2.2	3.3	0.1	4.1	▲ 0.2	2.7	2.4	0.2	▲ 0.2	▲ 0.8	4.2
	5月	▲ 1.1	0.8	2.2	▲ 3.5	▲ 1.1	▲ 3.2	▲ 1.0	0.0	0.6	0.3	0.4
	6月	0.9	2.8	0.5	6.2	1.4	2.5	▲ 1.8	0.6	0.5	▲ 1.3	▲ 0.8
	7月	▲ 0.8	3.0	0.6	▲ 11.1	1.0	0.8	▲ 1.4	▲ 0.6	▲ 0.3	0.7	0.9
	8月	0.3	2.2	▲ 3.5	6.0	▲ 1.5	▲ 1.0	0.6	0.7	▲ 4.1	1.3	0.2
	9月	0.3	1.5	2.4	2.4	0.3	▲ 1.3	0.5	▲ 0.5	3.3	▲ 0.6	1.7
	10月	0.0	0.3	▲ 1.8	1.7	0.8	1.8	▲ 0.1	▲ 0.9	▲ 1.9	▲ 0.5	▲ 1.9
	11月	0.4	2.7	▲ 1.9	▲ 0.8	0.2	▲ 1.0	0.7	1.6	▲ 1.9	0.9	2.3
	12月	0.0	2.2	▲ 0.8	4.3	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 1.4	0.6	4.9	▲ 0.3	0.5

(出所)経済産業省「第3次産業活動指数」

企業関連サービスが下支え

2004年12月の第3次産業活動指数は前月比横這いとなり、市場予想(コンセンサス 0.1%、レンジ 0.9 ~ +0.4%)を若干上回った。前月が比較的高い伸びだっただけに前月比低下を予想していたのだが、結果は横這いと、底堅さを示す結果となった。内訳では、暖冬の影響で小売業(前月比 0.7%)、電気・ガス・熱供給・水道業(同 0.8%)などが落ち込んだものの、情報通信業(同 +4.3%)、飲食店・宿泊業(同 +4.9%)などが下支えした。

また、四半期でも前期比 +0.6%と2四半期ぶりの上昇となっており、総じて良好な内容である。趨勢としては第三次産業活動指数の緩やかな改善トレンドが続いていると評価して良い。四半期の内訳では、小売業や個人向けサービス業など個人消費関連部門が低調に推移している一方で、情報通信業や対事業所サービスといった企業向けサービス部門が好調だった。

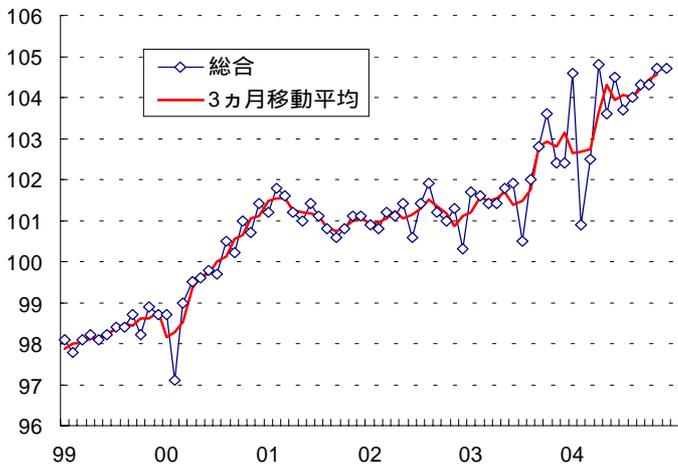
10 - 12月期の日本経済停滞を再確認

一方、同時に公表された12月の全産業活動指数は前月比 0.3%(コンセンサス 0.3%、レンジ 0.9 ~ +0.1%)と低下するなど、あまり芳しくない結果である。10 - 12月期でも前期比 0.2%と2四半期連続での低下となっている。前述の通り第3次産業活動指数(同 +0.6%)は上昇したのだが、IT関連財の生産調整の影響から鉱工業生産指数(同 0.6%)が落ち込んでおり、足を引っ張る結果となった。全産業活

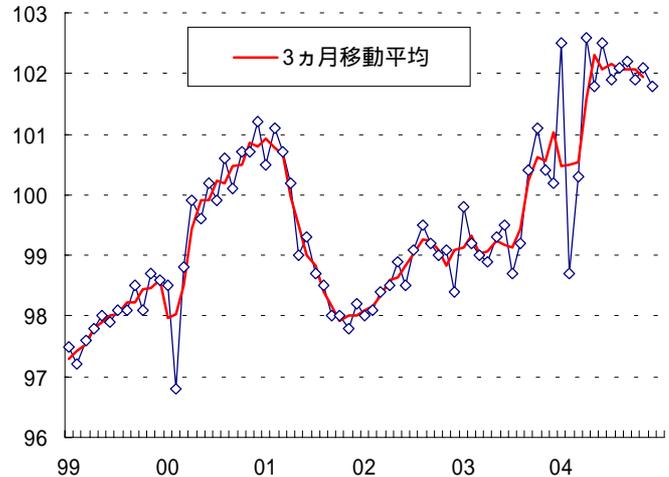
動指数は供給側から経済活動を示す統計である。同指数の2四半期連続の低下は、2004年後半の日本経済が停滞していたことを改めて確認する内容であるといえるだろう。

もっとも、1-3月期に関してみれば、鉱工業生産の落ち込みペースに歯止めが掛かってくる見込みであることや、10-12月期に不振だった個人消費の持ち直しが期待できることもあり、全産業活動指数の落ち込みが続くとは考えにくい。日本経済がこのまま景気後退に陥るとの見方をする必要はないと判断している。

第3次産業活動指数(季調値)

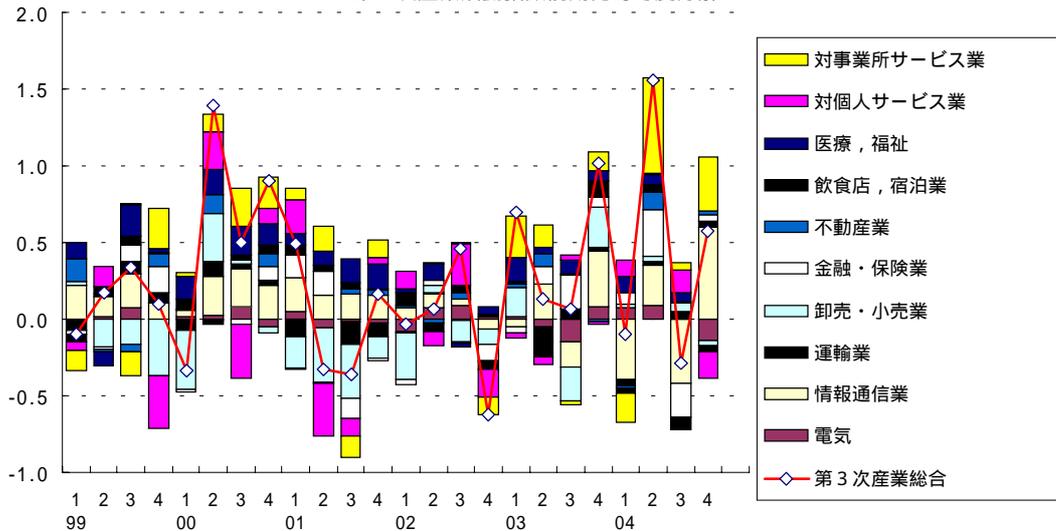


全産業活動指数(季調値)



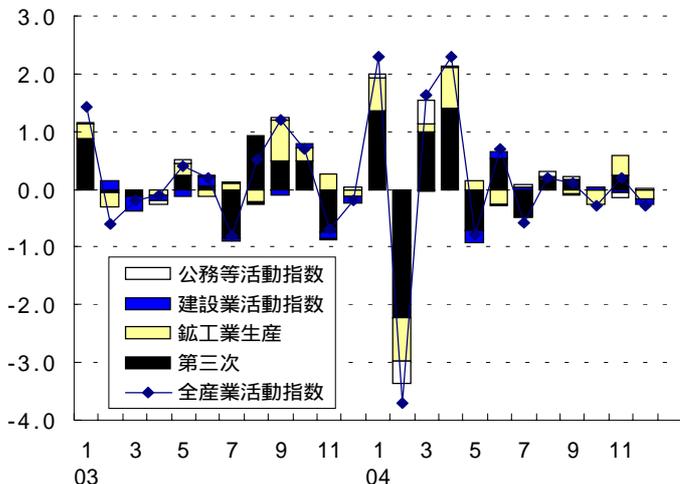
(%)

第3次産業活動指数前期比寄与度分解



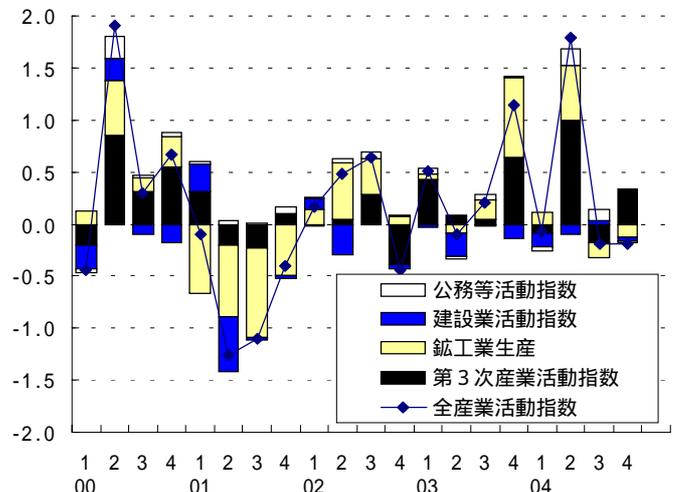
(%)

全産業活動指数前月比寄与度分解



(%)

全産業活動指数前期比寄与度分解



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。